

街なみ・川なみ
「今様・草加
宿」
地域再生計画



草加宿の誕生



- ❑ **まちの原点草加宿**
- ❑ 自然条件 :中川・綾瀬川の低平地に位置
標高 : 1.4m ~ 4.7m 河川の氾濫原
稲作に適した土地、河川・水路が縦横に走る
- ❑ 草加市のルーツは江戸時代初期
- ❑ 草加宿は奥州日光街道第2の宿場町
- ❑ 1606年、時の将軍徳川秀忠の命を受けた
大川図書が開宿に着手
- ❑ 1630年幕府公認の日光街道の宿場に
- ❑ 1689年松尾芭蕉が「奥の細道」の
旅で草加宿に歩みを残す。
このころ宿場北端の街道沿いに
松が移植され、草加松原として
知られるようになる



日光道中分間延絵図(東京国立博物館)



草加宿から草加市へ



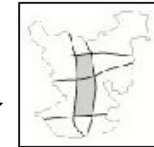
❑ 現在の草加市

- ❑ 昭和33年11月1日
人口3万4878人で市制施行
- ❑ 埼玉県 of 東南部に位置し、市域の南部を東京都足立区に接しています。
- ❑ 草加市東西7.24 km 南北7.6 km
総面積27.42^{km}²。
- ❑ 2004年6月1日
人口23万6715人



埼玉県

東京都



草加市

対象地区: 77ha

高砂 住吉 中央
神明 松江 栄町 中根

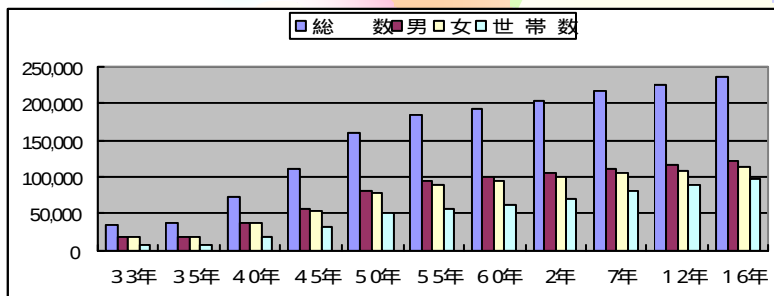
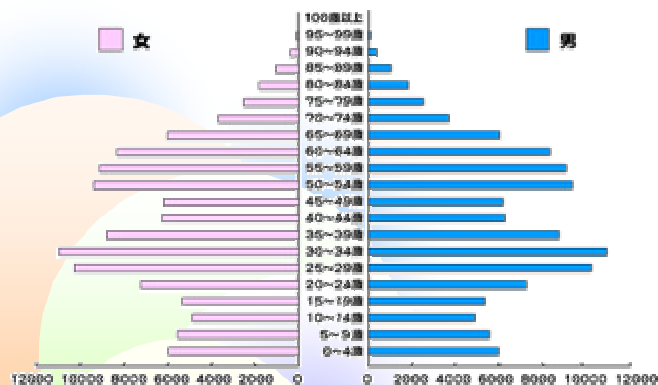
総人口の推移と人口増加率

市制施行時

人口 34,878人

16年6月現在

人口236,715人

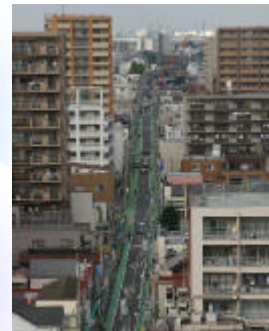




今様・草加宿(旧町地区)の現況と課題



- 商業・業務が集積する都市核として発展させていく必要がある。
- 高度利用化による集合住宅建設などと調和した旧道商店街の活性化が必要。
- 県道足立・越谷線は交通量が多く、交通安全の確保が必要。
- 草加停車場線の早期完成が求められている。
- 旧町地区の用途指定が商業地域で駅に近く、多数の中高層マンションが進出。商店街の分断、住環境への影響等がでている。
- 旧町地区をこのまま放置すれば、ビル化が進み古い街並みの良さが、まちの特徴がなくなってしまう。
- 旧町地区を対象に街路（４路線）を都市計画決定するため、市が説明会等を実施中。この街路計画について地区住民とコンセンサスを形成していくことが求められている。





今様・草加宿(綾瀬川左岸地区)の現況と課題

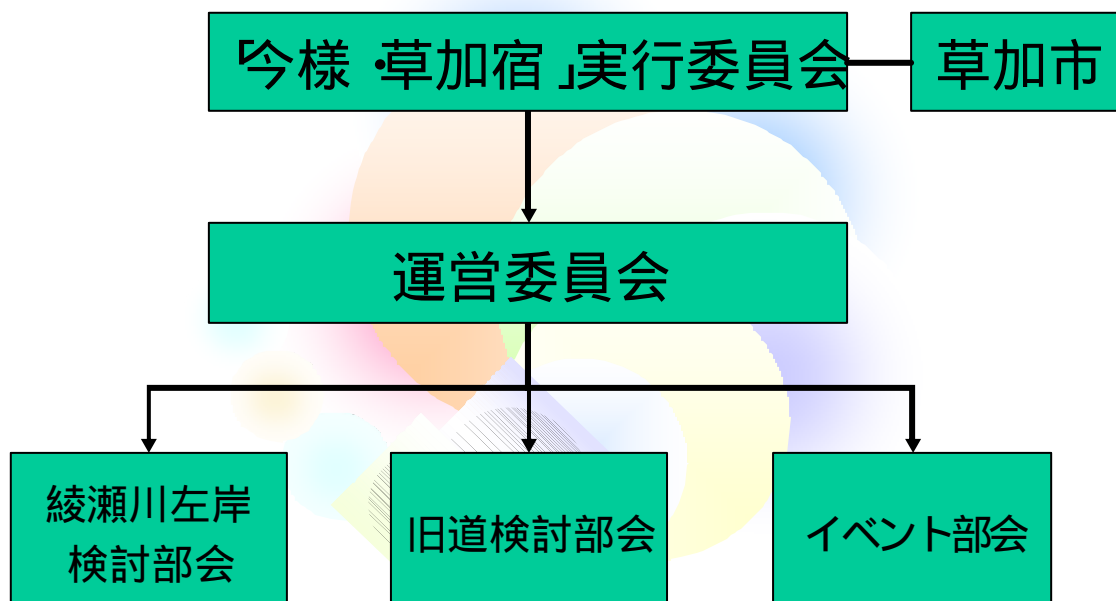


- 草加市文化会館などの文化施設を中心とした、文化核の形成が必要。
- 文化核の形成を踏まえた、松原団地駅周辺の整備が必要。
- 綾瀬川沿いの松並木以外での河川や水路での魅力的な水辺空間の整備が必要。
- 松原団地駅東側では、駅前商業環境や、文化核へのアクセスにふさわしい公園の整備が必要。
- 綾瀬川左岸広場と富士製革跡地を含めた6ヘクタールの市所有を旧道地区と連携した賑わいのある地区に。





吟様・草加宿」実行委員会





スローライフによる
まちづくり



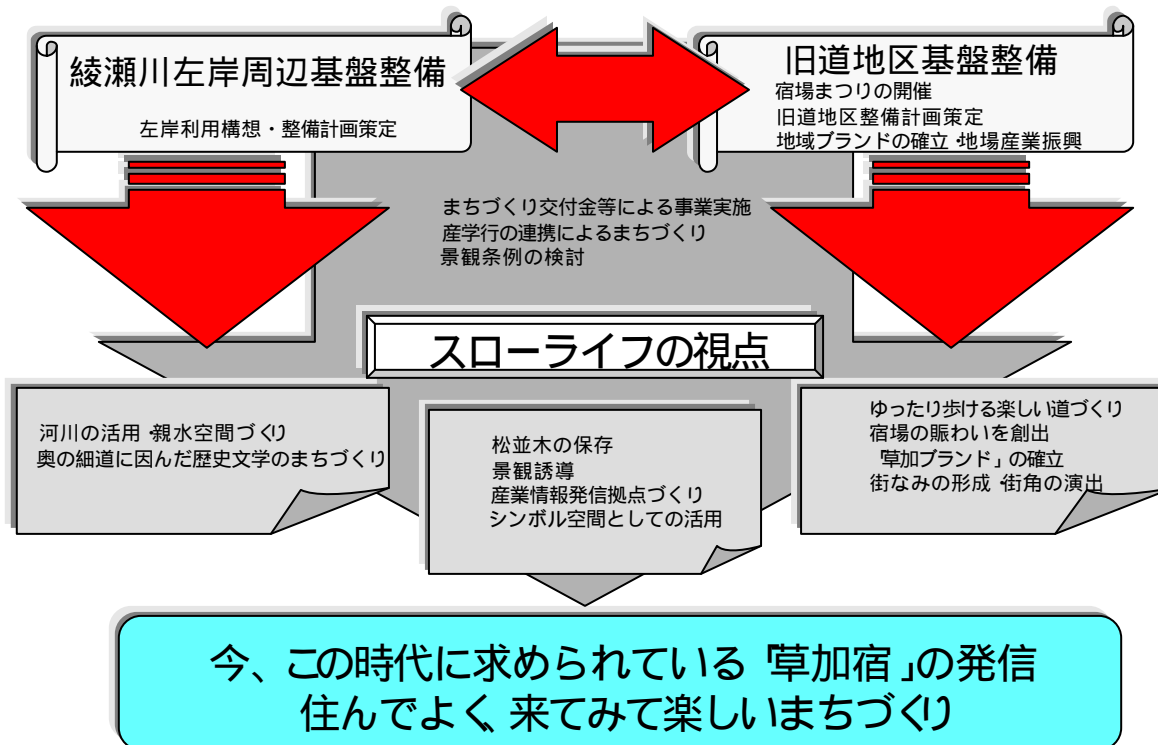
今様 草加宿」の再生へ 市民との協働による事業を展開

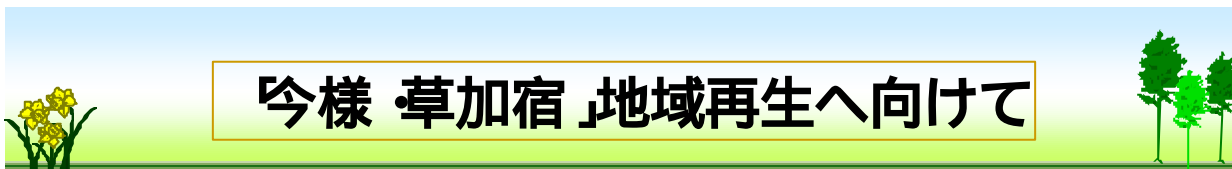




今様・草加宿」地域再生プロジェクト

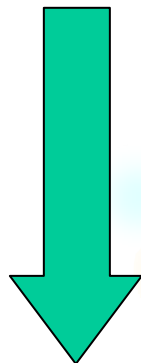
市民とのパートナーシップによる草加市100年の計





吟様 草加宿」地域再生へ向けて

人を集める仕組みづくり



まちに出かける楽しみを演出

住んで良い環境を整える

来て見て楽しむまち

実現に向けた仕組みと環境づくり
特定地域プロジェクト 吟様 草加宿」